KFC-MESSAGE　2008.04.27

世と教界を見る目を養う（10）

＝バビロンの運命③＝

ゼカリヤ5章；黙示録17章

（1）大淫婦の特徴：女がゼカリヤから黙示録までに成長している
・水の上に座る（1,15節）→民・民族・国民・言葉の違う民を支配する（比較：ゼカリヤ5：7）
・地上の王たちがこの女とみだらなことをし、ぶどう酒で酔う→宗教的姦淫
・女は紫（王）と赤（血）の着物（権威）を着、金・宝石・真珠で飾る（cf.新エルサレム）、汚れで満ちた金の杯を持つ
・名前を大バビロン、みだらな女たちや、地上の忌まわしい者たちの母
・聖なる者たちの血とイエスの証人の血に酔う
・七つの丘（ローマの象徴）に座る
・七つの頭と十の角のある獣の上に座る
・女はこの獣に着物を剥ぎ取られ、肉を食われ、火で焼き尽くさされる
・この女は地上の王たちを支配する大きな都（比較：新エルサレム）

（2）バビロンの根底にあるもの：安定感への渇望→宗教的儀式・経済的システムの定着
対する主イエスの生き方：地上には枕するところもない→地上に安定を求めない

（3）KFCの現状と今後
・ワーシップやメッセージの形ができ、これに身を任せることや方法を守ることが、礼拝の純粋性を保つことにまさってきた
・固定化したものをご破算にし、各人の心の中のバビロンを壊す必要がある→一人ひとりが祭司であり、一人ひとりが契約の箱を担ぎ、一人ひとりで主の前に歩むこと
・主以外に自分のよすがや安定の根拠を求めない→Dr.Lukeは徐々に手を離していく予定
・散らされること：ユダヤ人の歴史（ディアスポラ）と教会の迫害による離散→心のベクトルを内部へではなく、外部へ向けること